

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social WorkA）		
ナンバリングコード	E30928	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042801	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は必ず受講してください。 また、応用レベルの科目のため、社会福祉援助技術演習Ⅱを履修していることを条件とします。 すでに「相談援助の基盤と専門職A・B」を履修していることが望ましい。 よく考えること、たくさん読むこと、真摯な態度で授業に臨むことを心がけてください。		
教科書	新・社会福祉士養成講座7『相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版		
参考文献及び指定図書	MINERVA社会福祉士養成テキストブック3・4『ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ』ミネルヴァ書		
関連科目	相談援助の基盤と専門職 社会福祉援助技術演習Ⅱ		

○基本情報		
授業の目的	ソーシャルワーカーとして欠くことのできない技術の理解・習得を目的とします。 ①相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ②相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。 ③相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ※介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)によるサービス利用計画についての理解を含む。 ④相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 ⑤相談援助の実際について理解する。 ※権利擁護活動を含む	
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」は、「身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するの者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うこと」を、「相談援助」と位置づけている。「相談援助の理論と方法」は、個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、それらのシステムを横断する統一的なソーシャルワーク理論を展開する点に特徴がある。本科目では、相談援助の構造と機能、相談援助における援助関係、相談援助の展開過程、アウトリーチの技術、契約の技術、アセスメントの技術、介入の技術、経過観察(モニタリング)・再アセスメント・効果測定・評価の技術、面接の技術、記録の技術、交渉の技術を講ずる。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	「人と環境」に対して関心を持つことができる。		20点	
【知識・理解】	「人と環境」をシステムとして把握し、相談援助の理論と技術を理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	相談援助とは何かを自分の言葉で解説できる。		20点	
【思考・判断・創造】	相談援助の必要性を現実社会において想定することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義内容についての考察(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義内容に関する意見交換について、次回以降の講義時間内にフィードバックを行う。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
1. オリエンテーション 相談援助とは①					
具体的事例を紹介し、ソーシャルワーカーの業務について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
2. 相談援助とは②					
仕事からとらえたソーシャルワークの定義と役割について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
3. 相談援助とは③					
ソーシャルワークを構成する要素について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
4. 相談援助とは④					
ソーシャルワークの仕事(職場)と分類(所属する組織)について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
5. 相談援助の構造と機能①					
ソーシャルワークの構造【人と環境の関係・人についての見方・社会資源】について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
6. 相談援助の構造と機能②					
ソーシャルワークにおけるニーズ【ソーシャルワークにおけるニーズ・社会生活ニーズ・サービスニーズ】について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
7. 相談援助の構造と機能③					
ソーシャルワークの過程からとらえた機能を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
8. 人と環境の交互作用①					
ソーシャルワーク実践における、「人」と「環境」のとらえ方、交互作用について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
9. 人と環境の交互作用②					
サイバネティックス、システム論に基づくソーシャルワーク視点を理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
10. 相談援助における援助関係①					
ソーシャルワークにおける援助関係の意義を理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
11. 相談援助における援助関係②					
援助関係の形成プロセスに関する要因【ソーシャルワーカーが準ずる原則・ソーシャルワークの技法】を理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
12. 相談援助における援助関係③					
援助関係における援助構造を理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
13. 相談援助における援助関係④					
援助関係の質と自己覚知ー【関係の意味・権威的ソーシャルワーク】について理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
14. 相談援助における援助関係⑤					
援助の質と自己覚知ー【均等性と公平性・信頼関係・自己覚知】について理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
15. 相談援助における援助関係⑥					
援助関係とマイクロ～マクロの実践領域を理解する。					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間
16. 授業1～授業15までのまとめ					
・分野ごとの事例を用いて解説					
予習	専門用語の調べ学習				約2時間
復習	確認テストの実施				約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
17. 相談援助の展開過程①					
相談援助の展開の意味、目的と対象、プロセス、構造について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
18. 相談援助の展開過程②					
相談援助のプロセスー入口段階(ケース発見)の意味を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
19. 相談援助の展開過程③					
相談援助のプロセスー入口段階(インテーク)での留意点を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
20. 相談援助の展開過程④					
相談援助のプロセスー入口段階での関わり技法を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
21. 相談援助の展開過程⑤					
相談援助のプロセスー問題把握～ニーズ確定までを理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
22. 相談援助の展開過程⑥					
相談援助のプロセスーニーズ確定～アセスメントまでを理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
23. 相談援助の援助過程⑦					
相談援助のプロセスーアセスメント～支援標的・目標設定までを理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
24. 相談援助の展開過程⑧					
相談援助のプロセスー支援標的・目標設定～支援計画の策定(プランニング)までを理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間

○授業計画		科 目 名	相談援助の理論と方法A（Theory and Method of Social Work	授業コード	E042801
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
25. 相談援助の展開過程⑨					
相談援助のプロセスー経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、予防的対応とサービス開発について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
26. 相談援助のためのアウトリーチの技術					
アウトリーチの必要性、意義、留意点について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
27. 相談援助のための契約の技術、アセスメント技術					
契約の意義、目的、方法と留意点について理解する。 アセスメントの特性、アセスメントツール、情報の活かし方について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
28. 相談援助のための介入の技術、経過観察、再アセスメント、効果測定の技術					
相談援助の介入の意義と目的、方法と留意点について理解する。 経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定とサービス開発について理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
29. 相談援助のための面接の技術、記録の技術					
相談援助における面接の目的、展開方法、コミュニケーション技法、形態を理解する。 相談援助における記録の意義と活用目的、方法と技術、留意点を理解する。					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
30. 相談援助のための交渉の技術					
交渉の意義と目的、方法と留意点、技術について理解する。 授業17～授業30までのまとめ					
予習		専門用語の調べ学習			約2時間
復習		確認テストの実施			約2時間
31. 定期試験					
予習					
復習					
32.					
予習					
復習					